

佐世保高専 JABEE 関連企業・大学院アンケート (本校の教育プログラムに関するアンケート)

1 調査の目的

本校の技術者教育プログラム『複合型もの創り工学』における学習・教育目標が、社会が専攻科修了生に要求する能力に適合しているかを評価していただき、その結果を本プログラムの教育改善に資する。

2 調査対象

・ 企業 66名(64社)

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月専攻科修了生が就職した企業

・ 大学院 17名(11大学院)

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月専攻科修了生が進学した大学院及び本校専攻科のカリキュラムと類似している他高専専攻科の修了生が進学している大学院から抽出

3 調査方法及び調査時期

(1) 調査方法 アンケート用紙及び返信用封筒を郵送

(2) 調査期間 (企業) 令和 2 年 4 月 1 日 (水) ～令和 2 年 4 月 30 日 (木)
(大学院) 令和 2 年 4 月 1 日 (水) ～令和 2 年 4 月 30 日 (木)

4 回答数

企業 : 18 件

大学院 : 16 件

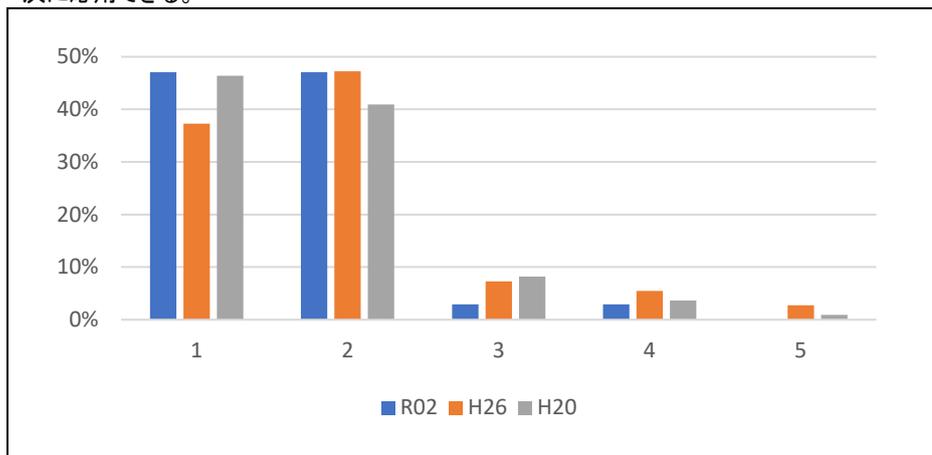
質問フォーム

本校の教育プログラム『複合型もの創り工学』における学習・教育目標についてお尋ねいたします。付表「学習・教育目標とその評価方法および評価基準」を参考に、専攻科修了生に要求する能力について、目標ごとに回答ください。

※「前回」は、平成 26 年度実施分を指す。

A-1

数学(微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など)と自然科学(物理、化学など)の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できる。

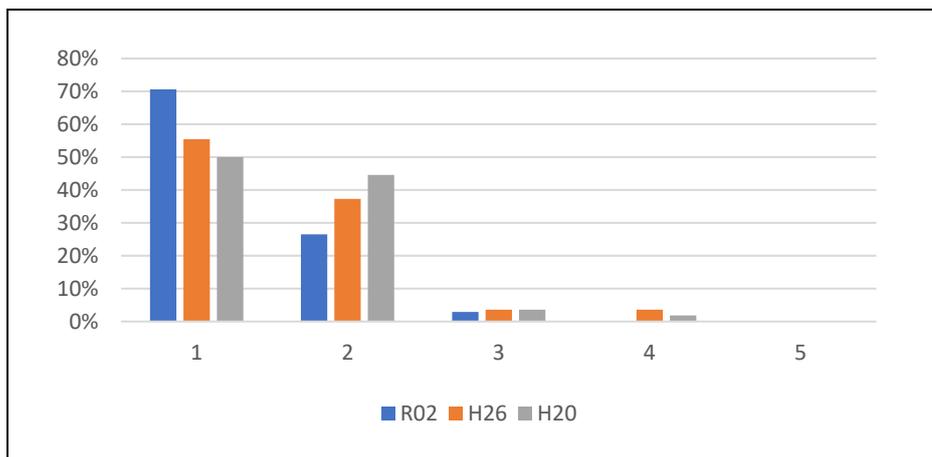


「1: ぜひ必要」および「2: ある程度必要」が前回、前々回と比べて増加しており、9割を超える企業・大学院が数学や自然科学の基礎知識や工学的諸問題の解決に応用できる能力を要求している。

1: ぜひ必要 2: ある程度必要 3: どちらとも言えない 4: 殆ど必要ない 5: 必要ない

A-2

情報技術の基本知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できる。

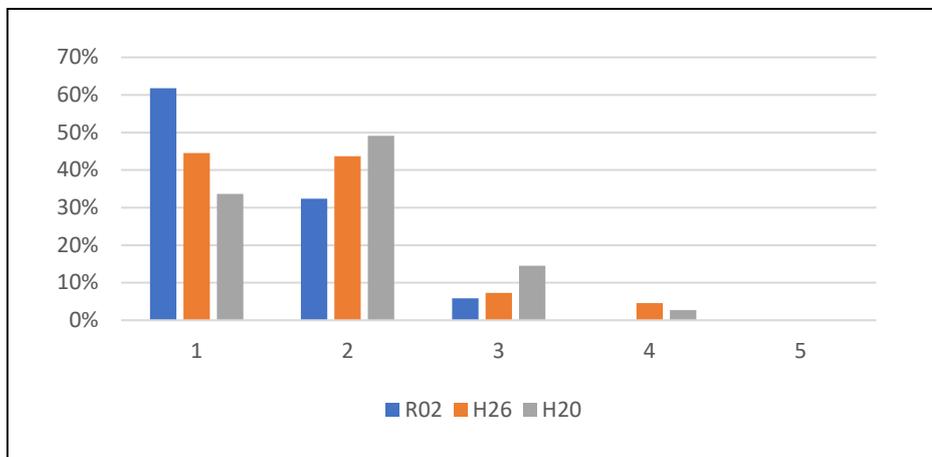


「1: ぜひ必要」および「2: ある程度必要」が前回、前々回と比べて増加しており、特に、「1: ぜひ必要」が70%を越えていることから、企業・大学院が情報技術の基本知識を身に付けて、情報収集、実験データの解析等へコンピュータを活用できる能力を強く要求している。

1: ぜひ必要 2: ある程度必要 3: どちらとも言えない 4: 殆ど必要ない 5: 必要ない

A-3

基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できる。

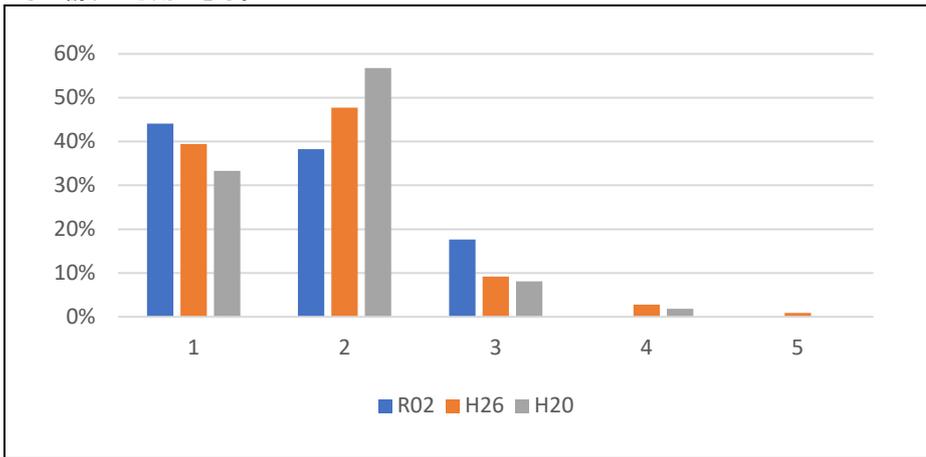


「1: ぜひ必要」および「2: ある程度必要」が前回、前々回と比べて増加しており、9割を超える企業・大学院が基礎工学的諸問題の解決に応用できる能力を要求している。また、「1: ぜひ必要」が大きく増加していることからその必要性が高まっていることがうかがえる。

1: ぜひ必要 2: ある程度必要 3: どちらとも言えない 4: 殆ど必要ない 5: 必要ない

A-4

それぞれの専門分野におけるもの創りのための4つの専門科目群(材料・要素・設計・製造・評価・解析、複合系)の知識を身につけて、もの創りに応用できる。

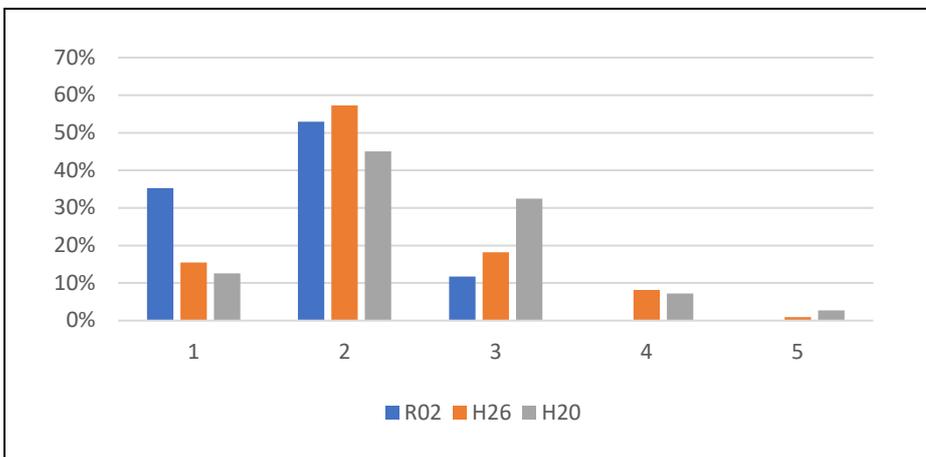


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が8割を超えることから、多くの企業・大学院が4つの専門科目群の知識をもの創りに応用できる能力を要求している。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

B-1

他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができる。

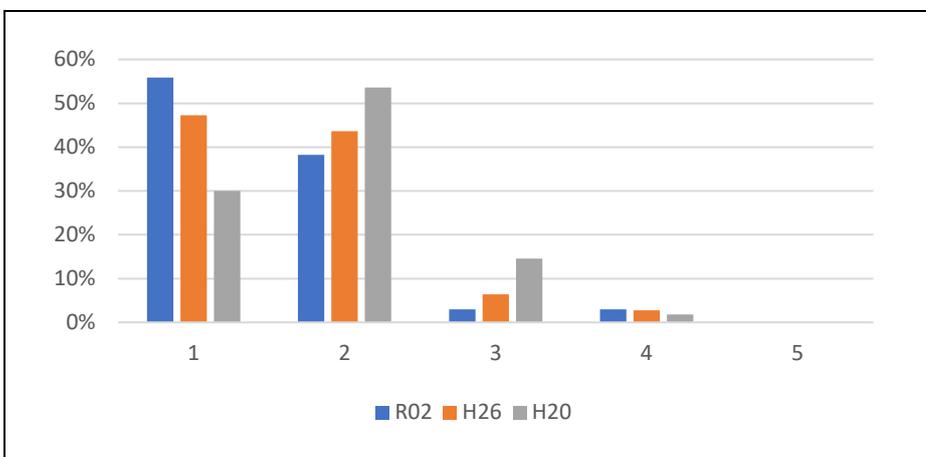


「1:ぜひ必要」と「2:ある程度必要」が約9割程度に増加していることから、企業・大学院はグローバルな視点でものごとを考える能力を要求している。また、前回と比べてその割は増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

B-2

技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できる。

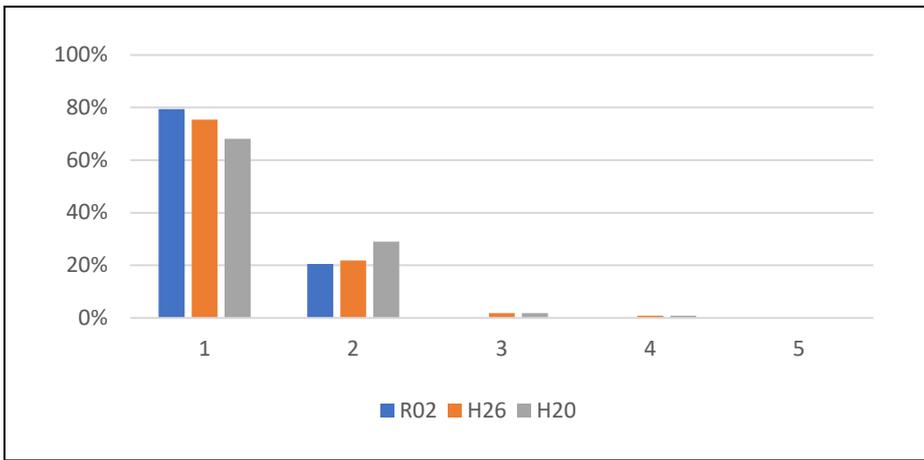


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が約9割を越え、ほぼすべての企業・大学院は技術が与える影響を理解し技術者としての責任を自覚できる能力を要求している。また、前回と比べてその割は増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

C-1

技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できる。

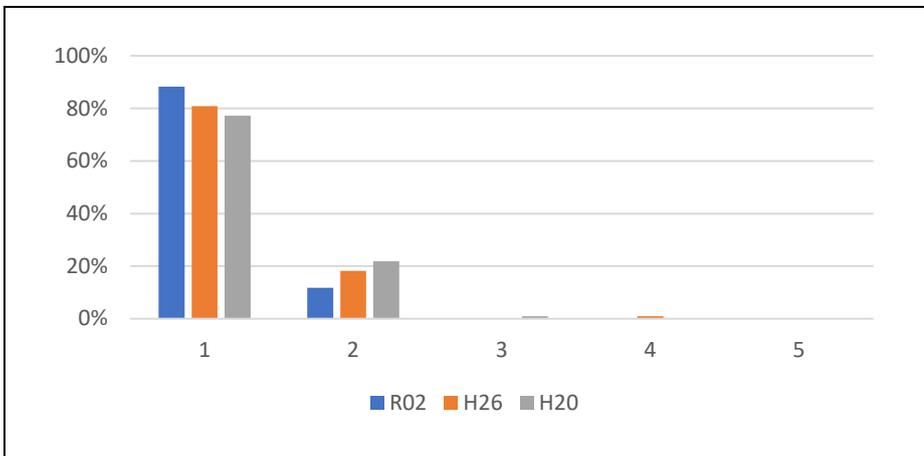


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が100%であり、すべての企業・大学院が日本語による論理的な説明ができる能力を要求している。また、前回と比べ増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

C-2

相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができる。

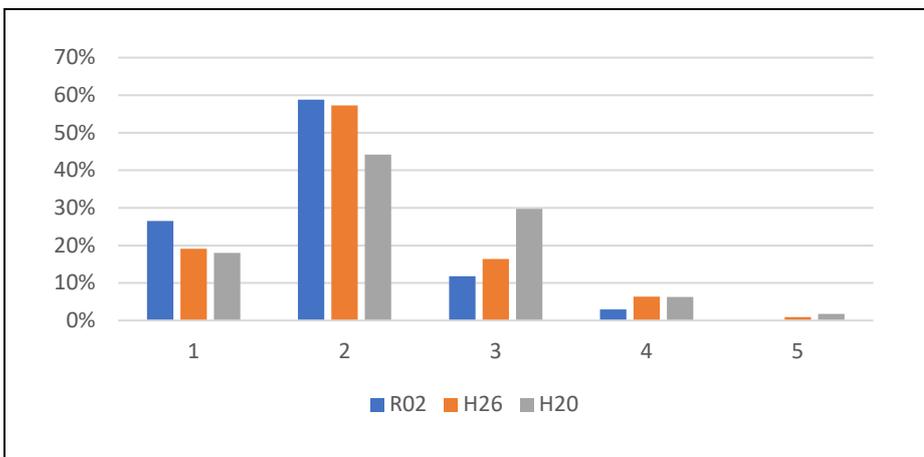


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が100%であり、すべての企業・大学院が日本語による適切な返答ができる能力を要求している。また、年々「1:ぜひ必要」の割合が高まっていることから、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

C-3

英語による基礎的なコミュニケーションができる。

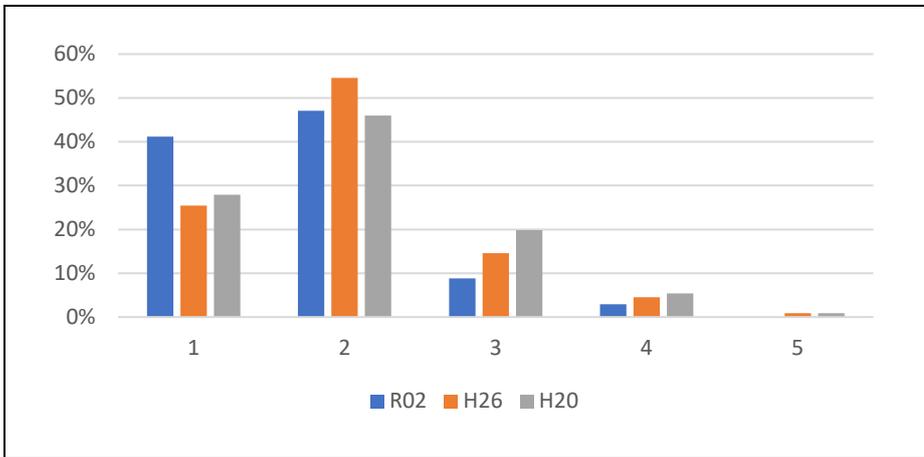


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が前回から増加しており、8割を超える企業・大学院が英語によるコミュニケーション能力を要求している。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

C-4

基礎的な技術英語の文章を読み書きできる。

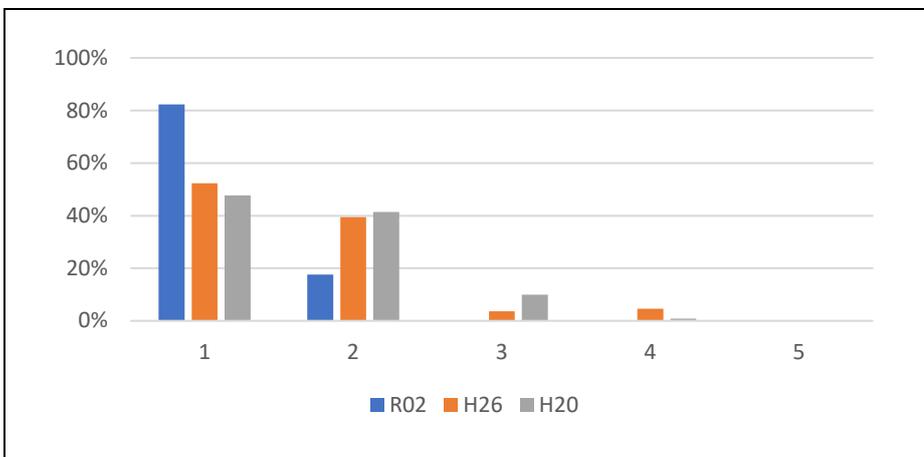


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が約9割であり、ほぼすべての企業・大学院が技術英語の文章を読み書きできる能力を要求している。また、前回と比べてその割合は大きく増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

D-1

自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること。

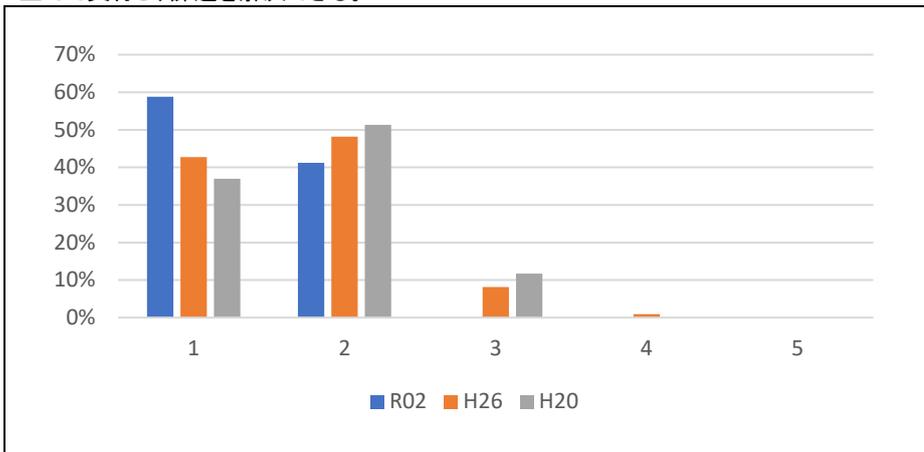


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が100%であり、すべての企業・大学院が自分で計画や手順を決めて実験を実施することができる能力を要求している。また、前回と比べて大きく増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

D-2

いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できる。

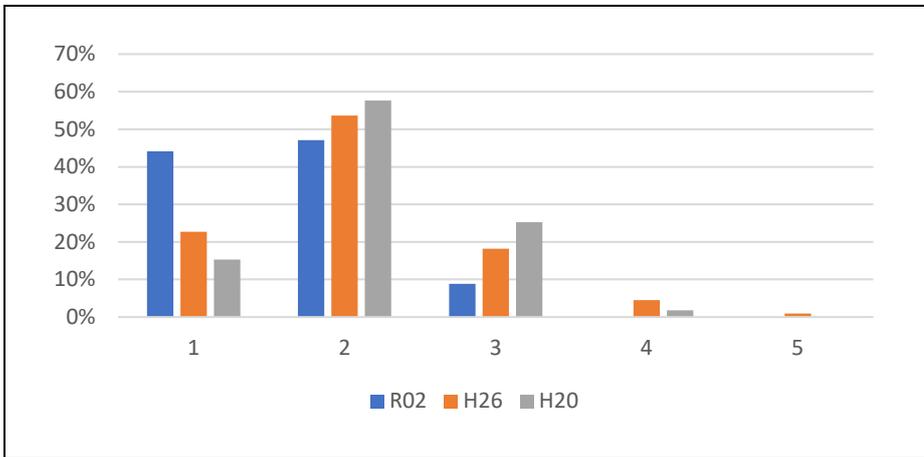


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が100%であり、すべての企業・大学院が創造性や解決策を引き出し、課題を解決できる能力を要求している。また、前回と比べてその割合は増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

D-3

社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできる。

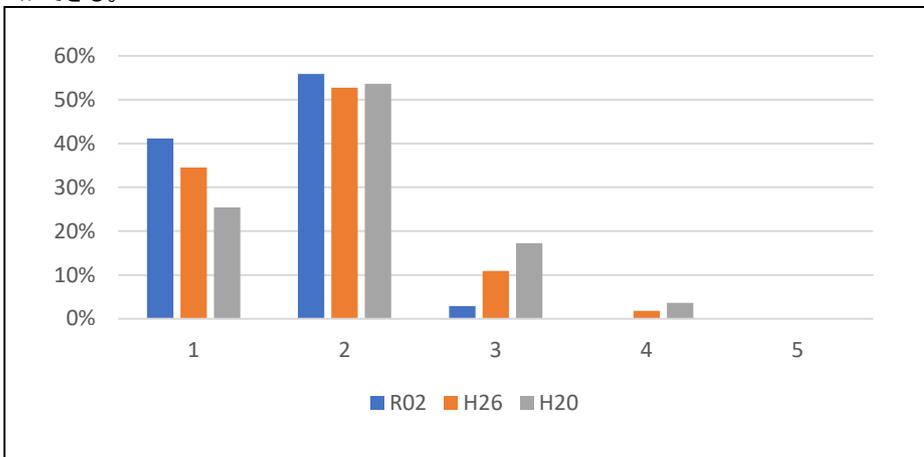


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が9割を超えており、ほぼすべての企業・大学院が社会の要求する課題を解決するための方法をデザインできる能力を要求している。また、前回と比べて「1:ぜひ必要」が大きく増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

D-4

実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができる。

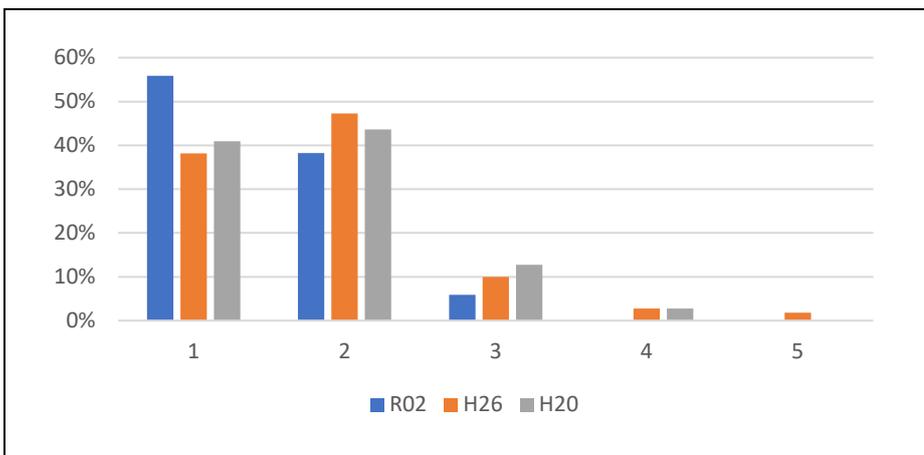


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が97%であり、ほぼすべての企業・大学院が実践力を身につけ問題や課題に適切な対応ができる能力を要求している。また、前回と比べてその割合は増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

E-1

社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できる。

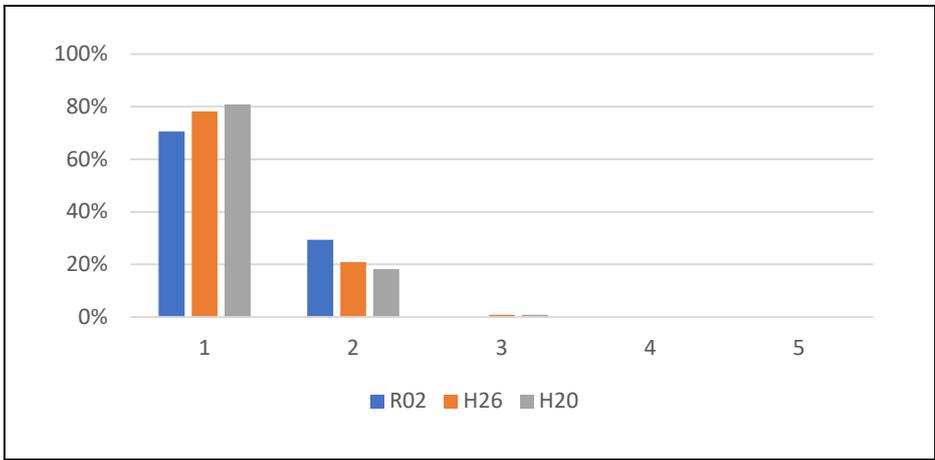


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が94%であり、ほぼすべての企業・大学院が社会の要請・科学技術の進展に対応するため自主的・継続的な学習ができる能力を要求している。また、前回と比べて「1:ぜひ必要」の割合が大きく増加しており、その必要性が強く求められている。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

E-2

要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができる。

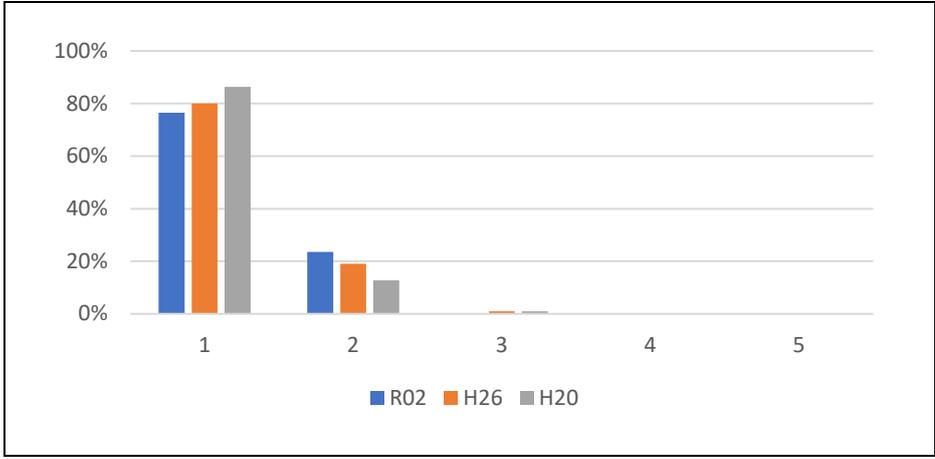


「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が100%であり、すべての企業・大学院が課題に対して自立し他の人と協力して期限内に終わらせることができる能力を要求している。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない

E-3

健全な心身を持ち、学内外(あるいは社内外)の人々と協調して行動できる。



「1:ぜひ必要」および「2:ある程度必要」が100%であり、すべての企業・大学院が課題に対して自立し健全な心身で学内外の人と協調して行動ができる能力を要求している。

1:ぜひ必要 2:ある程度必要 3:どちらとも言えない 4:殆ど必要ない 5:必要ない